

タカハシトゲゾウムシ

Dinorhopala takahashii (Kôno)
コウチュウ目・ゾウムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内での生息地点数もさほど多くなく、生態・生息の実態が把握できていないため、注視を継続する必要がある。近隣では京都府で要注目種に指定されている。

種の特徴

体長 4.0 mm内外。後脚腿節は肥大し、体には多くの刺状突起を備える。幼虫はサクラやスモモの葉に潜る。

分 布

本州～九州に分布。県内では坂井市、福井市、勝山市、鯖江市、越前市、南越前町、おおい町に記録が散見される。今回、越前町内、福井市足羽山で見つかった。

生息を脅かす要因

生態、分布に関する情報が少なく、さらなる調査が必要である。

参考文献 福井県自然保護課 (2002)、林ら (1984)、京都府自然環境保全課 (2015)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○					○	○			○	○		○	○		○

ホシアシブトハバチ

Agenocimbex jucunda Mocsary
ハチ目・コンボウハバチ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】情報不足

選定理由

嶺北、嶺南で広く調査が行われたが、確認は1地点のみ。全国的に個体数は多くなく、三重県、岡山県で減少の報告があることから、本県でも生息状況の把握をすべく注視が必要である。

種の特徴

体長 18 mm。頭部、肩板、中胸背板、中胸腹板、小楯板、後胸背板と脚は藍青色。前胸背、中胸側板と腹部は黄褐色で、腹部各節の背中側に黒色の斑紋をもつ。平地～山地に広く生息するとされ、幼虫はエノキを食べる。成虫は4月中旬～5月上旬に出現する。

分 布

本州～九州に分布。県内ではこれまでに大野市小池、大野市内、小浜市鬼ヶ谷での記録があり、今回は敦賀市天筒山で4月に採集された。

生息を脅かす要因

宅地開発、土地造成、道路建設等生息地の開発が脅威となる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会 (1985)、福井県自然環境保全調査研究会 (1998)、平嶋・森本 (2008)、環境省 (2015)、吉田 (2006)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
					○	○										○	

ルリコシアカハバチ

Siobla metallica Takeuchi
ハチ目・ハバチ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】情報不足

選定理由

嶺北を中心に調査が行われたが、確認できなかった。神奈川、岡山県では減少が報告されている。県内の生息に関しては情報が不足しており、生態の解明を含めて本県でもさらなる調査が必要である。

種の特徴

体長 14 mm。藍黒色で後頭部は多少紫色をおび、腹部は藍色光沢が強い。触角は黒色。山地に生息するが、幼虫の食草は不明。

分 布

本州、四国に分布。県内では旧和泉村鷲鞍岳と田茂谷で記録がある。今回の調査では大野市や池田町の山地で調査が行われたが、本種は確認できなかった。

生息を脅かす要因

雑木林の伐採、スギの人工林の拡大や道路建設等が脅威となると考えられるが、県内での分布状況の把握を含め、さらなる調査が必要である。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会 (1985)、福井県自然環境保全調査研究会 (1998)、平嶋・森本 (2008)、環境省 (2015)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	